



武田氏家系

八

~ 13
3370
8



花大印の管あふハ店をふあふぬがしと
 せとすぬふうきく亭ふあふと世ひて
 少役のわうたるあを洗ひるをぬひて
 のまんともねとるるあふんごふさるや
 ふうくをねと折るふえんける折るハ
 甲ふあふの強かき水いもあふと握るハ
 うせくさうさ退解さうけくさるの
 ぬふさうさ折るあふのきえんさけハ

[illegible]

[illegible]

折るに法なく海ありわたりいえのふ
 机く掛く中食するふ幸ふ者の若ハ
 いろ乃をもはまの者をもてまゐるを
 怖るゝき力なきまゝとて揚子江の
 船をうへ何ぞはこれ折るを誠の
 一き修む者なりと古を振ふとみ
 ちうりるまのつるやハ長今のみまハ
 げはまゝとてしる人を空のちおとく

[illegible][illegible]

とくまあるふ浅おき着書今由筆等述
上下移これ人のり得るそまあるれを
やうそ新義ハシ終る華あひやて
しむけらるる人出ふもとりても返て
所傳の名号并工ふは城下の名也思ひ
いふどもこのむきりうりては城下の傍町
よりあり華人が居るなりなるが如く
めぬさうそて武家のゆゑにそなへ

[illegible]

人々といふ人々もさうおそろひあき
りしぬる村さうきふ少き店さう
是（き）入宿をさうさう亭伝は六十
老伝さうさうきあさ何より家
流くといふ伝少店さうさう何より
六ヶ島早き村さうさうたぐ飯とけ
りうといふむねさう何より流りさ
さハいといふさうさう常ぬる伝
伝

とせさうさう中ねハ少何より流り
伝さうさう何より流り
やもの伝さうさうさうさう
中ねさうさうのさうさうさう
事さうさうさうさうさう
伝さうさうさうさうさう
皆物伝さうさうさうさう
何よりさうさう山果さうさう乃ね

あうそ新なるあうわーの旧地もた
三人^{ゆが}を言つて^こうちをうろく^いも
そも^もはに^はあう^はは^はえん^{えん}づ^づう^うが^がき^きハ
あう^{あう}ー^ーも^もち^ちう^うれ^れを^を夜^やよ^よち^ちう^うき^きハ
の怪^あなる^{なる}う^うう^うく^くは^はき^きん^ん狐^こ狸^りの^のき^き
も^もは^はう^うれ^れを^をは^はき^きん^んと^と澄^{てい}み^みく^く佛^{ぶつ}
そ^そと^とち^ちう^うれ^れを^をは^はき^きん^んと^と澄^{てい}み^みく^く佛^{ぶつ}
そ^そと^とち^ちう^うれ^れを^をは^はき^きん^んと^と澄^{てい}み^みく^く佛^{ぶつ}

[illegible]

ふえうるる信うきりるす水は流る
あそ中若うんや信を申のりちうと
止れえとそ流りのとくはあゆを
とて道とるを幸坊と物をもとて夕飯を
まゐいりてあふとて幸坊ハ仲後を
まゐるんちと用き一れとてともま
ニ町平りしとてそよ板のきけを
とてたう少きりう若信ハもきめを

押ひとてれとてとては佛あふえ
しとて夜をとりしとて新明は度あふ
板くまへしとてはあふもあふとて
佛あふはあふゆとてきとてとて
そゆとてりるれとてあふをゆとて
中しとて勝行とてとて一佛あふとて
和しとてきとてとてとてとてとて
とてとてとてとてとてとてとて

[illegible]

春 ^{はる} 一 ^{いち} 二 ^に 三 ^{さん} 四 ^し 五 ^ご 六 ^{ろく} 七 ^{しち} 八 ^{はち} 九 ^く 十 ^{じゅう} 十一 ^{じゅういち} 十二 ^{じゅうに} 十三 ^{じゅうさん} 十四 ^{じゅうし} 十五 ^{じゅうご} 十六 ^{じゅうろく} 十七 ^{じゅうしち} 十八 ^{じゅうはち} 十九 ^{じゅうく} 二十 ^{じゅうじゅう} 二十一 ^{じゅうじゅういち} 二十二 ^{じゅうじゅうに} 二十三 ^{じゅうじゅうさん} 二十四 ^{じゅうじゅうし} 二十五 ^{じゅうじゅうご} 二十六 ^{じゅうじゅうろく} 二十七 ^{じゅうじゅうしち} 二十八 ^{じゅうじゅうはち} 二十九 ^{じゅうじゅうく} 三十 ^{じゅうじゅうじゅう} 三十一 ^{じゅうじゅうじゅういち} 三十二 ^{じゅうじゅうじゅうに} 三十三 ^{じゅうじゅうじゅうさん} 三十四 ^{じゅうじゅうじゅうし} 三十五 ^{じゅうじゅうじゅうご} 三十六 ^{じゅうじゅうじゅうろく} 三十七 ^{じゅうじゅうじゅうしち} 三十八 ^{じゅうじゅうじゅうはち} 三十九 ^{じゅうじゅうじゅうく} 四十 ^{じゅうじゅうじゅうじゅう} 四十一 ^{じゅうじゅうじゅうじゅういち} 四十二 ^{じゅうじゅうじゅうじゅうに} 四十三 ^{じゅうじゅうじゅうじゅうさん} 四十四 ^{じゅうじゅうじゅうじゅうし} 四十五 ^{じゅうじゅうじゅうじゅうご} 四十六 ^{じゅうじゅうじゅうじゅうろく} 四十七 ^{じゅうじゅうじゅうじゅうしち} 四十八 ^{じゅうじゅうじゅうじゅうはち} 四十九 ^{じゅうじゅうじゅうじゅうく} 五十 ^{じゅうじゅうじゅうじゅうじゅう} 五十一 ^{じゅうじゅうじゅうじゅうじゅういち} 五十二 ^{じゅうじゅうじゅうじゅうじゅうに} 五十三 ^{じゅうじゅうじゅうじゅうじゅうさん} 五十四 ^{じゅうじゅうじゅうじゅうじゅうし} 五十五 ^{じゅうじゅうじゅうじゅうじゅうご} 五十六 ^{じゅうじゅうじゅうじゅうじゅうろく} 五十七 ^{じゅうじゅうじゅうじゅうじゅうしち} 五十八 ^{じゅうじゅうじゅうじゅうじゅうはち} 五十九 ^{じゅうじゅうじゅうじゅうじゅうく} 六十 ^{じゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅう} 六十一 ^{じゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅういち} 六十二 ^{じゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうに} 六十三 ^{じゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうさん} 六十四 ^{じゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうし} 六十五 ^{じゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうご} 六十六 ^{じゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうろく} 六十七 ^{じゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうしち} 六十八 ^{じゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうはち} 六十九 ^{じゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうく} 七十 ^{じゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅう} 七十一 ^{じゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅういち} 七十二 ^{じゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうに} 七十三 ^{じゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうさん} 七十四 ^{じゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうし} 七十五 ^{じゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうご} 七十六 ^{じゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうろく} 七十七 ^{じゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうしち} 七十八 ^{じゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうはち} 七十九 ^{じゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうく} 八十 ^{じゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅう} 八十一 ^{じゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅういち} 八十二 ^{じゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうに} 八十三 ^{じゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうさん} 八十四 ^{じゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうし} 八十五 ^{じゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうご} 八十六 ^{じゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうろく} 八十七 ^{じゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうしち} 八十八 ^{じゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうはち} 八十九 ^{じゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうく} 九十 ^{じゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅう} 九十一 ^{じゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅういち} 九十二 ^{じゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうに} 九十三 ^{じゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうさん} 九十四 ^{じゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうし} 九十五 ^{じゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうご} 九十六 ^{じゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうろく} 九十七 ^{じゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうしち} 九十八 ^{じゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうはち} 九十九 ^{じゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうく} 一百 ^{じゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅうじゅう}

[illegible][illegible]

最のほろよりを殺さるるうゝ世敵の
 所をくもるるに無事ななくはる
 今此人のくもるるを止るるに
 吾を改めしむるをばなまう
 二人が業を押し合はれし
 ろくや大なるけりては
 今よりおろしき事なる
 事うあも今所あで聞くはるは

[illegible]

[illegible]

今より此の如くあるは、
 ちやあゝそ進められ
 是に在りて出金せしむる
 とらとあるが事程も
 何れ又け修りたる
 多めの人の止まりたる
 あぢきもみなり
 ぬけりともなる

えんしやう
 度々あるはくり
 あなをしく老候く
 まづれと述ぐ
 ゑもあれまづる金
 びよむをねたの山御に二ある遠文
 しそ社ちよく
 多法一きれ平に
 ひがね
 川向のねなる
 まづる
 三輪屋
 つきさ
 禮身とねに
 高ひ又日か
 うね
 初めるとその
 喜ひめ候ふを全
 とて情みとねみ九利
 ころそほり利



此

東原徐之誼



所

東景祚少一服者服也

